

令和 5 年 度
事業・決算報告書

西蒲区社会福祉協議会

I 概要

西蒲区社会福祉協議会（以下「区社協」という。）では、新潟市社協ビジョン2021「支えあい、ともに笑顔で暮らすまち『にいがた』と西蒲区地域福祉活動計画「つながり支えあい、みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり」の実現を目指し

- (1) 認知症徘徊者捜索模擬訓練事業
- (2) 生きづらさを抱えた方の支援事業
- (3) コミュニティソーシャルワーク推進事業
- (4) ボランティア・市民活動育成事業

の4つを重点事業として展開し、地域福祉の推進に努めました。

II 事業実施状況

1 地区社協活動交付金事業

地域性を踏まえた地域福祉活動が推進できるよう、各地域・地区社会福祉協議会（以下「地区社協」という。）へ助成金を交付するとともに活動支援を行いました。

地区社協 名等	活動交付金内訳		活動交付金 合計金額	寄付 件数	指定寄付 合計金額
	一般会費	賛助会費			
岩室地域	263,000円	195,000円	458,000円	0件	0円
巻地区	607,000円	368,615円	975,615円	0件	0円
西川地区	314,000円	75,000円	389,000円	4件	168,760円
潟東地区	122,000円	165,000円	287,000円	0件	0円
中之口地区	134,000円	271,000円	405,000円	1件	45,000円
その他	-	-	-	19件	945,991円
R5年度	1,440,000円	1,074,615円	2,514,615円	24件	1,159,751円
R4年度	1,452,000円	1,058,000円	2,510,000円	19件	2,760,777円
R3年度	1,496,000円	1,035,000円	2,405,000円	11件	583,900円

2 歳末たすけあい事業

歳末たすけあい募金の配分事業として、民生委員や自治会等の協力のもと、支援を必要とする方々が地域で安心して暮らすことができるよう助成しました。

<事業別内訳>

事業名	R5年度		R4年度		R3年度	
	参加 団体	参加 者数	参加 団体	参加 者数	参加 団体	参加 者数
地域歳末交流事業	3団体	2,100人	2団体	1,950人	2団体	1,300人
歳末ボランティア交流会	-	-	1団体	110人	-	-
歳末サロン交流会事業	4団体	250人	1団体	200人	1団体	250人
歳末友愛訪問事業	3団体	1,050人	2団体	700人	3団体	1,050人

事業名	R5 年度		R4 年度		R3 年度	
	参加団体	参加者数	参加団体	参加者数	参加団体	参加者数
歳末防犯防災に関する事業	1 団体	70 人	1 団体	65 人	1 団体	50 人
歳末子育て支援事業	—	—	—	—	1 団体	150 人
歳末おせち料理配食事業	3 団体	930 人	3 団体	960 人	3 団体	930 人
地域歳末共生型あぐり事業	—	—	1 団体	100 人	1 団体	110 人

< 地区別内訳 >

地区社協名等	歳末たすけあい事業内容	助成額
岩室地域	サロン歳末活動助成・歳末見舞品配布事業ほか	491,000 円
巻地区	歳末地域交流事業助成・歳末友愛訪問事業ほか	1,276,000 円
西川地区	歳末訪問事業・地域歳末交流会ほか	683,000 円
潟東地区	歳末おせち配食事業	242,000 円
中之口地区	歳末地域交流おせち配食事業	297,000 円
その他	その他経費	210,580 円
R5 年度		3,199,580 円
R4 年度		3,158,281 円
R3 年度		3,139,000 円

3 地域福祉活動計画推進事業

西蒲区地域福祉活動計画を推進するため、各地区での座談会を開催し、地域住民や関係機関とともにいつまでも安心して暮らせる地域づくりを目指すことができるきっかけ作りを行ないました。

< 座談会実施状況 >

地区	開催日時	会場	参加者数
漆山地区	11/27 (日) 18:30~20:00	漆山公民館	39 人
峰岡地区	12/1 (金) 19:00~20:30	峰岡公民館	24 人
角田地区	12/2 (土) 10:00~11:40	角田地区コミュニティセンター	28 人
潟東地区	12/12 (火) 14:00~15:40	潟東地域コミュニティセンター	31 人
岩室地区	2/9 (金) 14:00~16:00	岩室地区 和納小学校	55 人
西川地区	2/19 (月) 13:30~15:00	新潟市総合教育センター	47 人
松野尾地区	2/25 (日) 9:00~11:00	松野尾地域コミュニティセンター	25 人
中之口地区	2/25 (日) 15:00~17:00	中之口地区コミュニティセンター	42 人

4 地域ふれあい助成事業

<事業別内訳>

事業名	R5 年度	R4 年度	R3 年度
子育て支援事業助成	120,000 円	238,000 円	0 円
ボランティア交流事業助成	190,000 円	326,068 円	207,000 円
地域交流事業助成	702,000 円	344,932 円	653,000 円
配食サービス事業助成 (ふれあい昼食事業)	110,000 円	175,000 円	0 円
友愛訪問事業助成	260,000 円	298,000 円	290,349 円
地域ふれあい活動特別助成	84,756 円	104,109 円	158,230 円
合計	1,466,756 円	1,486,109 円	1,308,579 円

<地区別内訳>

地区社協 名等	事業名	助成額
岩室地区	地域交流事業・友愛訪問事業助成	205,000 円
巻地区	ボランティアサロン交流事業・地域交流事業 子育て支援事業助成	598,000 円
西川地区	ボランティアサロン交流事業・地域交流事業 友愛訪問事業助成	313,000 円
潟東地区	地域交流事業・配食事業・友愛訪問事業助成	119,000 円
中之口地区	ボランティア交流事業・配食事業・地域交流事業	147,000 円
その他	地域ふれあい活動特別助成 (3 団体 3 件)	84,756 円
	その他経費	65,244 円
R5 年度		1,532,000 円
R4 年度		1,710,282 円
R3 年度		2,059,915 円

5 地域福祉活動応援協力員育成事業

地域福祉活動の推進役として登録している 12 人の地域福祉活動応援協力員に対し、本会の主催する福祉事業、各地区座談会への出席や共同募金活動への協力を依頼し、地域の福祉のまちづくりに積極的に関わってもらった機会をつくりました。

6 認知症徘徊者搜索模擬訓練事業【重点事業】

認知症の人に対する見守り体制や認知症に対する理解が地域に浸透することを目的に、本年度は岩室地区を対象として認知症行方不明者搜索訓練を開催しました。

訓練だけでなく、事前勉強会を開催し、認知症の人への接し方や普段からの注意点などを学び、区役所や関係機関とも連携を強化しました。「高齢者が高齢者を見守る」時代に向け、行方不明者が発生した際の早期対応・発見が可能となる、認知症の人に対してやさしいまちづくりの意識を醸成しました。

訓練の企画段階において地域で行方不明者が出た際のフローチャートを作成しました。実際に行方不明者が出た地域を中心に訓練を行うことで、我がこととして地域住民に取り組んでもらうことができました。訓練後、実施地区内で行方不明事案が2件発生しましたが、訓練の効果により地域の連携ができていたことから、行方不明者を発見することができたとの報告がありました。

実施内容	実施日	参加者数
事前勉強会	8/18（金）10：00～12：00 岩室農村改善センター	75名
搜索模擬訓練	10/20（金）9：00～12：00 岩室農村改善センター	105名

7 子育て支援事業

地域の中で子育ての悩みなどを共有できるコミュニティ作りのため、子育てサロンへの助成支援を行うとともに、情報交換会等を開催しました。

<活動支援団体数>

R5年度	R4年度	R3年度
5団体	4団体	2団体

<子育て支援関係者情報交換会>

日時	会場	参加者数
7/13（木）9：30～11：30	巻ふれあい福祉センター	36名
12/14（木）9：30～11：30	巻ふれあい福祉センター	44名

8 緊急情報キット配布事業

地域の見守り支援の一つの手段として、必要時に応じて、地域の人々に緊急情報キットを紹介しました。また、緊急情報キット配布時には、対象者に日頃から地域と情報共有をしておくことの必要性を説明し、地域とつながるきっかけづくりの機会としました。

区分	R5年度	R4年度	R3年度	延べ配布数（H21～）
キット配布数	2本	0本	5本	3,767本

9 サロン支援・助成事業【市補助事業】

助けあい支えあう地域づくりを進めるため、地域の皆さんが集まりやすい場所を利用して、子どもから高齢者、障がいのある人等誰もが気軽に交流が出来る活動を支援しました。

タイプ	件数			助成額		
	R5 年度	R4 年度	R3 年度	R5 年度	R4 年度	R3 年度
月 1 回開催	48 件	46 件	46 件	1,348,632 円	1,287,500 円	1,202,901 円
月 2 回開催	1 件	1 件	1 件	60,000 円	60,000 円	60,000 円

年度	R5 年度	R4 年度	R3 年度
サロン立上げ支援数	4 件	2 件	7 件

10 コミュニティソーシャルワーク推進事業【重点事業】

既存の制度では対応困難な複雑・多様化した福祉課題に対し、関係機関と協働しながら包括的支援を行ったほか、個別支援を通して表面化した地域共通の福祉課題に対し、地域住民とともに社会資源の創出に向けた検討を進めました。また、関係機関協力のもと区内在住外国人を対象とした「令和 6 年能登半島地震についての座談会」を開催し、非常食の試食や非常食を中心としたフードパントリーを行ないました。

<個別支援事例>

区分	内 容
事例概要	一般就労を目指す知的障がいのある方への支援
CSW による支援内容	<p>労働環境が希望に合わないことを理由に退職を繰り返していたケースでは、応募前に対象者と一緒に求人情報を確認し、継続して就労ができそうかの検討や、求人応募の際の社会的なルールやマナーを具体的に説明するなどの支援を行いました。</p> <p>また、対象者は不安になると各所へ相談に行く傾向があるため、関係機関と情報共有・検討し、共通認識の上で対応、必要に応じて対象者の思いを代弁しました。</p> <p>専門職以外の人との関わりがほとんどなく、他者とのコミュニケーションに不安感を持っていたため、就労に向けた第一歩として、区社協が開催している生きづらさを抱えた方の居場所「marugo-to home」への参加を提案し、まずは短時間から一緒に他者と過ごすことから始めました。</p> <p>「marugo-to home」のボランティアスタッフには、事前に対象者の特性に関する最低限の情報のみを提供し、あくまで家族でも専門職でもないフラットな関わり方で接することを心がけました。</p>
成果	<p>他者と同じ空間で過ごすことに拒否感があり、「marugo-to home」でも初めはCSWとだけ話をして過ごしていましたが、次第にボランティアスタッフや他の参加者とも交流が増え、参加前より円滑に意思疎通が図れるようになりました。</p> <p>対象者にとって居心地のよい居場所が見つかったためか、以前のように感</p>

区分	内 容
	<p>情的になり自傷他害行為が少なくなりました。</p> <p>居場所で熱心にボランティア活動をする様子をスタッフや他の参加者などから褒められたことで自己肯定感が高まり、災害ボランティア活動や食料寄付など、意欲的になりました。</p> <p>他者と関わる経験を重ねたことでコミュニケーション能力が豊かになり、対象者からの情報発信が増えました。対象者を通じて、家庭内の状況も把握できるようになりました。</p>
今後の課題	<p>対象者の希望である就労を目標に、就労できる環境や条件、そのためにできることを一緒に考えます。関係機関と連携しながら、対象者の強みをいかした就労を支援します。</p> <p>食品を扱う業務への就労を希望しながらも、自身の清潔を保つ意識が薄く、見た目の汚れやにおいが顕著になることがあるため、対象者が清潔を保つことの重要性やそのための具体的な方法を理解し、他者との関わりのなかで清潔感を身につけていけるよう関係機関や「marugo-to home」ボランティアスタッフと連携しながら支援します。</p>

1 1 心配ごと相談事業

<相談件数>

相談内容	R5 年度	R4 年度	R3 年度
家族	6 件	4 件	1 件
精神衛生	3 件	4 件	1 件
財産	6 件	1 件	1 件
苦情	2 件	2 件	0 件
人権・法律	0 件	1 件	1 件
その他	61 件	60 件	49 件
相談件数合計	78 件	72 件	53 件

1 2 給食) 西蒲区西川・西蒲区潟東【受託事業】

新潟市からの委託により、65 歳以上の一人暮らし・または高齢者のみの世帯で希望する方に、安否の確認やふれあい交流のため、給食ボランティアによる手作り弁当を月に 4 回昼食（西川地区）、毎週 1 回夕食（潟東地区）を民生委員等の協力を得て利用者宅に届けました。利用者負担金は 1 食 300 円。

地区名	実施日数	実利用者数	延べ配食数	ボランティア数		
				調理	配達	
西川地区	R5 年度	41 日	56 人	2,027 食	13 人	7 人
	R4 年度	44 日	49 人	2,106 食	13 人	7 人
	R3 年度	39 日	55 人	1,718 食	14 人	7 人

地区名	実施日数	実利用者数	延べ配食数	ボランティア数		
				調理	配達	
潟東地区	R5 年度	50 日	17 人	770 食	13 人	10 人
	R4 年度	47 日	15 人	683 食	13 人	10 人
	R3 年度	42 日	17 人	533 食	13 人	10 人

1 3 生活福祉資金貸付事業【県社協受託事業】

法制化された生活困窮者自立支援法のもと、関係機関との連携により、低所得者、高齢者、障がい者等の世帯に対してその自立と生活の安定のため、生活の立て直しを支援しました。

コロナ特例借受人に対し現在の生活状況を聞き取り必要に応じて償還延長や償還免除の手続きの支援を行いました。また、相談に来た方の状況に応じ関係機関と連携し、就労支援や家計改善・債務等の課題解決に向けて取り組みました。

<相談件数・貸付実績>

資金種類		件数	
		相談	決定
生活福祉資金	総合支援資金	7 件	0 件
	福祉資金（緊急小口資金を含む）	26 件	0 件
	教育支援資金	19 件	2 件
	不動産担保型生活資金	0 件	0 件
	その他	77 件	0 件
R5 年度		129 件	2 件
R4 年度		218 件	27 件
R3 年度		581 件	127 件

1 4 行旅人旅費貸付事業

法外援護事業として、旅行中に紛失、盗難等により金銭を携行できない行旅人に対して目的地までの交通費の一部となるよう貸付を準備しました。

R5 年度	R4 年度	R3 年度
0 件	0 件	0 件

1 5 高校進学に向けた相談支援事業

高校進学（義務教育からの卒業）する子ども（世帯）が経済的理由で進学を諦めることがないように、区内の中学校にチラシを配布し各種奨学金制度等の周知を行い、支援が必要な世帯については関係機関につながるよう区社協の相談窓口を紹介しました。

年度	R5 年度	R4 年度	R3 年度
周知活動	全 6 校	全 6 校	全 6 校
相談件数	3 件	4 件	1 件

1 6 地域共生めぐり事業

地域福祉推進事業の取り組みのなかで表面化した社会的課題を解決するため、地域住民・地元企業や専門職等の協力を得て立ち上げた、多機能型拠点「marugo-to」の活動の運営支援を行いました。農作業や木工作業等をとおして、シニアの生きがいの場や認知症の人の通いの場・ひきこもりの人の就労準備前の訓練の場として、課題解決に向けて取り組みました。

○ビニールハウスを活用した生産性の高い居場所・通いの場の開催

(定期開催回数 42 回・イベント 5 回・定例会 10 回)

○シニア応援事業受講者を中心としたスタッフの育成

○今後の新たな事業展開のため「巻農業振興局 農業普及指導センター」への相談、農産加工物の技術支援先として「南区めぐりパーク」へのつなぎ支援を行ないました。

○次年度以降の運営費確保のため、助成金の紹介や申請手続きの支援を行いました。

1 7 生きづらさを抱えた方の支援事業【市補助事業】【重点事業】

社会構造の変化により生じている複雑多様化した「生きづらさ」を抱えた人に対し、①当事者支援、②家族支援、③住民サポーター（の育成）、④住民啓発といった取り組みを包括的に行うことで「生きづらい社会」の課題解消を目指しました。

「家族支援」では勉強会を実施した後、当事者家族の座談会「まるまるの会」を開催し、これまで参加したことのなかった人への情報提供の機会となりました。「当事者支援」と「住民啓発」を組み合わせ、セミナー開催後に関係機関の協力を得て、無料出張相談を実施しました。普段、市内中心部の相談支援機関には行けない人が直接相談をすることができる機会となり、相談機関の役割を知るきっかけにもなりました。

<当事者支援>

区分	内容	日程	相談件数
出張相談	就労に関する相談 (協力：新潟地域若者サポートステーション)	6/21 (水)	1 件
	ひきこもりに関する相談 (協力：新潟市ひきこもり相談支援センター)	9/20 日 (水)	0 件
	住民啓発セミナー×無料出張相談会 (協力：新潟地域若者サポートステーション・新潟市ひきこもり相談支援センター・障がい者基幹相談支援センター西・新潟市パーソナルサポートセンター)	11/11(土)	4 件
	障がいに関する相談 (協力：障がい者基幹相談支援センター西)	12/20 (水)	2 件

区分	開催回数	合計当事者参加人数	合計ボランティア参加人数
居場所 marugo-to home	24回	146人	116人
marugo-to home ひきこもり限定プチ居場所	3回	12人	5人

<家族支援>

区分	日程等	内容	参加者
まるまるの会	全6回	当事者家族によるフリーセッション	合計31人
勉強会	9/25(月) 13:30~16:00	第1部 トークセッション 「親なき後～安心への道を考える～」 にいがた若者ステーション 相談員 新美 建治 様+卒業生1名 第2部 ぷちまるまるの会	第1部 13名 第2部 7名

<住民育成>

昨年度まで実施していたフォローアップ研修に代わり、まるごとサポーターの活動に関することや今後の展望も含めた話し合いの会を年2回開催しました。

<住民啓発>

LGBTQ+当事者の生の声を聞き、住民が「多様化する性的マイノリティへの理解を深め、差別や偏見をなくし、生きづらさを抱えている方のよき理解者となる」ためのきっかけをもたらすことを目的として講演会を開催しました。

開催日/会場/参加者	内容
開催日：11/11（土） 会場：巻ふれあい福祉センター301 参加者：47名	トークセッション 「この表現でいいの？LGBTQ+～自分らしくくらしたい～」 ●コーディネーター 新潟青陵大学 助教 小林 大介 氏 ●登壇者 さとちん 氏 LGBTQ ここラテにいがた 代表 あやか 氏

<実施状況>

対象	R5年度		R4年度		R3年度	
	実施回数	延べ人数	実施回数	延べ人数	実施回数	延べ人数
当事者支援 (出張相談/marugo-to home)	4回 /27回	7件 /158人	4回 /30回	4件 /153人	4回 /26回	5件 /138人

対象	R5 年度		R4 年度		R3 年度	
	実施回数	延べ人数	実施回数	延べ人数	実施回数	延べ人数
家族支援	6回	34人	5回	23人	8回	32人
まるごとサポーター	2回	10人	2回	19人	1回	16人
住民啓発	1回	47人	1回	77人	1回	86人

18 ボランティア・市民活動センター運営事業【重点事業】

ボランティア・市民活動センター活性化のため、西蒲区ボランティア・市民活動センター運営委員会を開催しました。

回	開催日・会場	協議事項
第1回	8/24(木) 巻ふれあい福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・西蒲区社協ホームページ(ボランティア伝言板)からの情報発信について ・令和5年度「にしかん・障がい者作品展」について ・次期運営委員について ・令和5年度災害ボランティアセンター設置訓練について
第2回	2/22(金) 巻ふれあい福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度西蒲区ボランティア・市民活動センター事業について ・令和5年度「にしかん・障がい者作品展」について ・令和6年能登半島地震における西区災害ボランティアセンターについて ・委員長、副委員長の選出について ・令和6年度西蒲区ボランティア・市民活動センター事業(案)について

19 災害ボランティアセンター運営事業【市補助事業】

災害支援活動(特にボランティア・市民活動)に関係する人のネットワーク化を図り、平時からの顔の見える関係性と協働体制を構築し、発災時における諸活動を円滑に進めるため、西蒲区災害ボランティアネットワーク会議を開催しました。また、関係機関に参加を呼び掛け、災害ボランティアセンター設置訓練や災害研修(外国人支援)を開催しました。

<災害ボランティアネットワーク会議>

回	開催日・会場	協議事項
第1回	8/10(木) 巻ふれあい福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの協議事項の経緯について ・令和5年度災害ボランティアセンター設置訓練について
第2回	3/25(月) 巻ふれあい福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> 「災害ボランティア研修」 ～災害時の外国人支援について考えよう～ ・活動体験報告 ・参加者全員による座談会

<災害ボランティアセンター設置訓練>

開催日 ・会場 ・講師	令和5年11月4日(土) 西川社会福祉センター 講師：特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 氏
参加者 ・団体数	参加者数 25人 / 団体数 9団体
内容	【講義】昨今の被災地の現状や災害ボランティアセンターの活動の様子 【演習①】設置・運営について班(パート)ミーティング 【非常食試食】 【演習②】講師による流れの説明とツアー型デモンストレーション(屋外) 【演習③】スタッフ役・ボランティア役に分かれ模擬訓練(屋内) 【ふりかえり】

20 ボランティア・市民活動育成事業

西蒲区内でのボランティアの担い手を育成し、幅広い世代の地域住民が活動するきっかけとなるよう、ニーズに合った講座を企画、開催しました。

<ボランティア講座・交流会開催状況>

講座名	会場	開催日	参加者数
傾聴ボランティア講座	巻ふれあい福祉センター	① 9/7(木) ② 9/14(木)	① 16人 ② 17人
傾聴ボランティア講座 (フォローアップ研修)	巻ふれあい福祉センター	9/28(木)	10人
ボランティア受入施設担当者 研修(集合型・オンライン)	巻ふれあい福祉センター	12/20(水)	11人
地域応援ボランティア講座 (岩室地区) 「実践報告・グループワーク」	和納小学校ホール	2/9(金)	56人

21 福祉教育推進事業

対象	内容	回数	参加者数
漆山小学校	福祉講話・ハンディキャップ体験	1回	24人
	ブラインドウォーク体験	1回	24人
巻北小学校	視覚障がい者による講話・日常生活用具やユニバーサルデザイン商品の説明と紹介・歩行誘導訓練(代表のみ)	1回	93人
	福祉講話・ハンディキャップ体験	3回	93人
	手話講座	1回	93人
	キャリア教育(区長・介護講話・認知症の学習)	1回	90人

対象	内容	回数	参加者数
潟東小学校	視覚障がい者による講話・日常生活用具やユニバーサルデザイン商品の説明と紹介・歩行誘導訓練	1回	38人
	福祉講話・ハンディキャップ体験	2回	38人
松野尾小学校	福祉講話・ハンディキャップ体験	1回	13人
	視覚障がい者による講話・日常生活用具やユニバーサルデザイン商品の説明と紹介・歩行誘導訓練	1回	13人
	認知症の学習・marugo-toについて	1回	13人
	marugo-toの見学・参加者へのインタビュー	1回	13人
	marugo-toと地域や自分たちが一緒にできることを発表・参加者との交流	1回	13人
曽根小学校	視覚障がい者による講話・日常生活用具やユニバーサルデザイン商品の説明と紹介・歩行誘導訓練	1回	30人
	福祉講話・ハンディキャップ体験	1回	36人
巻南小学校	視覚障がい者による講話・日常生活用具やユニバーサルデザイン商品の説明と紹介・歩行誘導訓練(代表のみ)	1回	72人
	手話講座	1回	72人
中之口西小学校	盲導犬ユーザーの講話・日常生活用具やユニバーサルデザイン商品の説明と紹介	1回	21人
中之口東小学校	高齢者について・車いす体験・バリアフリー教室	1回	19人
和納小学校	盲導犬ユーザーの講話・日常生活用具やユニバーサルデザイン商品の説明と紹介	1回	27人
大通小学校(南区)	盲導犬ユーザーの講話・歩行誘導体験	1回	79人
根岸小学校(南区)	盲導犬ユーザーの講話・歩行誘導体験	1回	24人
臼井小学校(南区)	盲導犬ユーザーの講話・歩行誘導体験	1回	25人
潟東中学校	防災講話・VR体験・避難所体験	1回	42人
	避難所運営ゲーム HUG	1回	39人
巻西中学校	防災講話・車いす体験・ブラインドウォーク体験	1回	109人
	認知症サポーター養成講座(丹野智文さん)	1回	109人
巻東中学校	認知症行方不明者捜索訓練	1回	97人
西蒲高等特別支援学校	福祉講話・ハンディキャップ体験	1回	7人
巻東地区民児協	福祉ボランティア講話(ダンボの会)	1回	27人
	お茶の間サロンについて(圏域SC)	1回	27人
番屋の茶の間	包丁研ぎ講座	1回	10人
	お茶の間レクリエーション(脳トレ体操)	1回	11人
峰岡コミ協 地域福祉部会	お茶の間サロンについて(圏域SC)	1回	20人

対象	内容	回数	参加者数
真田老人会	寸劇(劇団おめさんもこいて)	1回	20人
和納6区茶の間	お茶の間レクリエーション(脳トレ体操)	1回	23人
そら豆の家	お茶の間レクリエーション(脳トレレク)	1回	19人
遠藤もみじ会	神楽舞・和楽器の演奏	1回	35人
楽しい体操角田山	お茶の間レクリエーション(脳トレ・ゲーム)	1回	19人
中之口東 ひまわりクラブ	防災ゲーム(なまずの学校)	1回	16人
まいらいふ旗屋	巻リコーダークラブによる演奏	1回	18人
岩室 ひまわりクラブ	赤い羽根共同募金について (講話・ポスター作成)	1回	30人
巻西中学校区 防災まつり	アイマスク体験(車いす貸出)	1回	57人
潟東小学校 PTA	防災講話・パッキング	1回	35人
お茶の間サロン いろり	寸劇(劇団おめさんもこいて)	1回	24人
西川地区「ボランテ ィアの集い」	西蒲区のボランティアについて ボランティア保険について	1回	50人
稲島自治会	包丁研ぎ講座	1回	20人
いこてば (週一茶の間)	お茶の間レクリエーション (スカットボール)	1回	40人

<実施状況>

年度	R5年度	R4年度	R3年度
実施校・団体数	16校・17団体	13校・15団体	15校・6団体

2.2 シニア地域活動応援事業

シニア世代の地域活動への参加の向上及び地域課題解決に向けた担い手育成を目指し、退職後のアクティブシニアを対象とし、社会参加に興味を持ってもらう講座を開催しました。

	事業名	回数	参加者数
R5年度	シニア応援講座 包丁研ぎと仲間づくり	1回	12人
R4年度	シニア応援講座 ①包丁研ぎと仲間づくり	1回	5人
	シニア応援講座 ②簡単!DIY	1回	4人
R3年度	シニア応援講座 ①簡単!DIY	1	9人
	シニア応援講座 ②包丁研ぎと仲間づくり	1	10人
	シニア応援講座 ③かんたんスマホ教室	3	8人

2.3 広報事業

区社協の事業を広報とホームページ・フェイスブック・ツイッターで公開することによっ

てより広く周知し、福祉の啓発を行いました。

<広報紙発行状況>

広報紙名・発行号	発行月	主な内容
ボラたん（ボラ機関誌） 第13号	令和5年8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアグループ活動紹介① ・ボランティアきっかけづくり講座 ・元気力サポーター応援事業 ・ボランティア団体メンバー募集 他
にしかんく社協だより 第44号	令和5年8月	<ul style="list-style-type: none"> ・会員会費ご協力をお願い ・西蒲区心配ごと相談所 ・生きづらさを抱えた方の支援事業 ・登録ヘルパー募集 他
にしかんく社協だより 第45号	令和6年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・賛助会費一覧 ・赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金実績報告 ・災害義援金について ・西蒲区心配ごと相談所 他 別紙「地域・地区社協の取り組みについて」
ボラたん（ボラ機関誌） 第14号	令和6年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアグループ活動紹介② ・元気力サポーターへのお知らせ ・ボランティア活動保険・行事用保険加入のご案内 ・ボランティア団体メンバー募集 他

2.4 区社協運営事業

地域住民に信頼された組織を目指すため、区社協が行う事業に対し、地域の多様な意見が反映できるよう、役員会や各種会議を行いました。

また、区社協の安定した事業運営ができるよう、財務の透明性の向上に取り組み、会員会費の増強、赤い羽根共同募金への協力を努めました。

<一般会員会費納入状況>

年度	納入自治会数	納入額
R5年度	184自治会	5,483,708円
R4年度	194自治会	5,723,652円
R3年度	209自治会	5,769,958円

<賛助会員会費納入状況>

年度	納入状況	納入額
R5年度	221件	1,221,450円
R4年度	202件	1,085,000円
R3年度	247件	1,068,500円

2 5 役職員研修事業

新潟県民福祉大会に 7 人の役職員が参加した他、西蒲区社会福祉協議会の事業概要についての勉強会を実施しました。

<主催研修>

開催日・会場	対象	内容
7/6 (木) 巻ふれあい福祉センター	会長、副会長	【内容】 西蒲区社会福祉協議会の事業概要 1 西蒲区社会福祉協議会の主な財源 2 社会福祉協議会の役割 3 西蒲区社会福祉協議会の事業 4 今後の課題
8/3 (木) 巻ふれあい福祉センター	会長、副会長、地域・地区社協役員等	【内容】 西蒲区社会福祉協議会を取り巻く状況 1 西蒲区社会福祉協議会の財政状況 2 課題 3 今後の連携について

2 6 巻ふれあい福祉センター管理運営【市受託事業】

市民の心身の健康を保持し、福祉の増進を図るとともに、福祉関係団体及びボランティアの地域福祉活動を支援しました。

R5 年度		R4 年度		R3 年度	
開催日数	延べ利用者数	開催日数	延べ利用者数	開催日数	延べ利用者数
360 日	26,468 人	359 日	28,832 人	359 日	30,963 人